

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成23年2月7日発行 季刊
発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第15号

こんにちは、ばんよしはるです。まだまだ寒い日が続きますが、お元気ですか。夏は暑すぎ、冬は寒すぎ、異常気象とも言える状況が続いておりますので体調管理にくれぐれも気をつけてください。

特に、インフルエンザはこれからがピークとも言われており、まだまだ安心はできませんので要注意してください。

さて、今回の「瓦ばん」は自分のまちへの想いを書かせていただきます。

今や、都道府県や市町村にも格付けが行われ始めた時代に突入いたしました。

それに伴い地方分権により、いつまでも「国のお墨付き」が通用するものでもありません。

現在、斑鳩町は奈良県下でも3本の指に入るほど財政は優秀な部類に入りますが、今後、金融機関から従来どおり資金調達が担保できるという保障はないのです。

これからは知恵や工夫、またネットワークや人材の活用などで、いろいろな問題の解決を図っていくべきだと考えます。

目の前に課題に対して積極的にアプローチしていく気持ちを失わなければ、これからの斑鳩町の未来は「元気なまち」になるはずです。

また、地方分権に向けたさまざまな法律、まちづくりのための法律、会社法や教育基本法など多くの法律が、ここ数年で改正されました。

行政も企業も学校さえも新しい時代に対応した変化が求められています。

それぞれの組織が変化に対応していくことが大切ですが、これからはそれぞれの組織がそれぞれの垣根を越えて連携していく時代です。

これまで行政だけが担っていた役割が、民間団体の可能な限り委ねられていくようになります。

そして情報過多の今日において、マスコミ等の幾多の思惑が混在するなかで、正しい情報を選択できることが求められています。

まちの未来は、皆さん一人ひとりの想いで変えられるということです。

もうすぐ、3月議会が始まります。

3月議会は平成23年度予算審議があります。

健全な町財政を維持することに視点をおいて審議に挑みたいと考えております。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。